

## ＜オミクロン株の流行＞

1月に入りコロナの流行がまた始まりました。今回はオミクロン株という変異株の流行です。昨年夏に流行したデルタ株とはかなり特徴の異なるウイルスです。今分かっている範囲で言われているオミクロン株の特徴は



- ・潜伏期間が短い（2, 3日）
- ・非常に感染力が強い（空気感染の可能性が高い）
- ・毒性が低い（無症状、軽症が多い：症状は鼻水、のど痛、咳、だるさ、頭痛などがメイン：ただしワクチン未接種者や3回目接種を受けていない高齢者は重症例もあり注意が必要）
- ・ワクチンの効果が低い（2回目接種後も感染する可能性が高い）
- ・再感染も見られる

ということです。つまり、花粉症や普通の風邪と区別がしにくい症状となっています。これまでよりも詳しく問診をさせて頂いたり、必要と考えられた場合は抗原検査をお願いすることが多くなっていきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

これまでコロナの抗原定性検査で陽性となった場合、確定診断のためのPCR検査が必要とされていましたが、現在（令和4年2月4日現在）は抗原定性検査陽性の時点で「コロナ感染確定」となります。陽性となった方にはこちらから保健所へ連絡をさせていただきます。お帰りの際にSpO2モニター（血液中の酸素を図る機器）を貸

し出したします。この機器は津保健所から借りているもので、自宅療養療養期間が終了したら同封されたレターパックで郵送返却して頂きます。

デルタ株の時と同様、オミクロン株も家族内感染が多いです。また今回は学校や保育施設などでのクラスターも見られます。感染拡大してから、保健所が濃厚接触者の検査を実施できない状況です。当院では濃厚接触者とされた方の検査も行っております。症状がない濃厚接触者の方は検査をしなくてもよいこととなっていますが（令和4年2月4日現在）、お電話でご相談頂ければ、症状の有無を確認し必要がある場合は検査を行います。

コロナに対する内服薬も登場しましたが、国内に在庫が多くないようです。また処方できる患者様の条件も限られています（高齢者、基礎疾患があるなど）。当院でも処方できる体制にはなっておりますので、適応となる場合は処方させていただきます。また電話診療による対応で解熱鎮痛剤や症状を和らげるお薬を処方することはできます。万が一陽性になった場合もご相談頂ければと思います。

## ＜ブースター接種について（3回目のコロナワクチン接種）＞

多くの方が2回目までのコロナワクチン接種を済まされていますが、半年以上経過しているとほとんど感染予防効果がありません。そこで3回目接種の必要性が昨年末から言われています。

当院もブースター接種事業に協力しております。当初当院ではファイザー製ワクチンのみを扱っておりましたが、ブースターに関してはモデルナ製ワクチンも扱うこととなりました。これはファイザー製ワクチンが相当不足している影響です。厚労省は、1, 2回目接種と3回目接種で



メーカーの異なるワクチンを接種することについて問題がないと  
しています。むしろ、どちらのワクチンでもいいので早くブースター  
接種をすることを勧めております。現在予約が殺到しております  
が、接種券が届きましたらなるべく早めに接種を受けてください。  
オミクロン流行に立ち向かうために、皆で免疫をつけていきましょ  
う！

### <スギ花粉情報>



今年の花粉飛散予報が発表され、飛散開始は  
例年通り2月19日頃、飛散数は例年並み、昨  
年より少し多いとのこと。

コロナ対策でほとんどの方がマスクを着用さ  
れていますので、例年より症状が軽いという方  
が多いと思います。ただ本格的に飛んでくる  
と、マスクだけでは症状が抑えられないことも

多いです。また前述のようにコロナの症状が「鼻水、咽頭痛」とい  
うことになると、花粉症と区別がつきにくく、早めに花粉症状を抑  
えておいた方がコロナの症状に気がつきやすいと思います。

花粉症の治療方法には色んなタイプのものがあります。当院で実  
施している治療法をご紹介します。

・予防治療（初期治療）：比較的効き目の優しいタイプの薬を、ス  
ギ花粉飛散前（2週間～1ヶ月前）から内服して頂く方法です。真  
面目に毎日内服できる方、花粉飛散開始時の症状を和らげたい方  
にお勧めです。

・対症療法：症状が出てからの治療です。ひどくなってから内服し  
ても効果が出るのに時間がかかるため、軽い症状が出始めたらす  
ぐにお薬を使い始めて頂くことをお勧めしています。鼻水に対する薬  
（抗ヒスタミン剤）、鼻づまりに対する薬（抗ロイコトリエン剤）、  
漢方薬、点鼻薬、点眼薬などを組み合わせて治療します。個人個人  
の症状や重症度に合った処方をご提供するのはもちろんですが、お

仕事や生活上気になることなどもお話し頂ければ、より適切なお薬  
と一緒に考えますので是非ご相談ください。

・手術療法（トリクロール酢酸による鼻粘膜焼灼術）：花粉飛散期  
を除く時期に行います。例年の花粉シーズンに、薬を使っても十分  
症状が改善しない方、妊娠や持病などの理由で薬をあまり使いた  
くない方、鼻づまりがひどい方などにお勧めです。例年6月から12  
月までの期間に行っています。予約制になっております。まずは受  
診して頂き、治療に関するご説明をさせて頂いた上でご予約をお  
取りします。効果は2年ほど持続すると言われてはいますが、個人差  
があります。

・舌下免疫療法：花粉飛散期を除く時期からスタートします。舌の  
下にスギエキス錠を置いて粘膜から吸収させる投与方法です。当院  
では小学生以上のお子さんから行っている治療法です。毎日スギ  
エキスを服用することでアレルギー反応を起こしにくい体質に変え  
ていく、唯一の根治療法です。比較的副作用は少ないですが、毎日  
継続が必要でトータル4年間かかります。ご興味のある方は一度  
スタッフまでご相談ください。詳細をご説明します。

早めの治療もちろん大切ですが、最も大事なこと・・・それは  
「花粉を吸わないこと！」です。外に出るときはマスクや眼鏡を使  
って予防できますが、盲点となるのが「洗濯物」。花粉シーズンに  
洗濯物を外に干すと大量の花粉が付着します。家の中に取り込めば  
家の中が花粉だらけになります。一旦家の中に入った花粉を取り除  
いたり外に出したりすることは難し



く、シーズンが進めば進むほど、外に  
いるときよりも家での症状がひどくな  
ってしまう方が毎年いらっしゃいま  
す。ご家族に一人でも花粉症の方がい  
らっしゃるご家庭は是非、洗濯物は家  
干しで、お布団も乾燥器を利用するな  
ど、極力外に出さないようにしてくだ  
さいね。